

2020年3月期 決算概要

長瀬産業株式会社
2020年5月14日

目次

連結損益計算書	3
地域(国内・海外)別売上高	4
セグメント別売上高 2期比較	5
セグメント別営業利益 2期比較	6
連結貸借対照表	7
連結キャッシュ・フロー	8
2021年3月期 業績見通し	9
配当状況	10

連結損益計算書

■売上高: 米中貿易摩擦および新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響を受けたものの、第2四半期連結会計期間において新たに買収したPrinovaグループの売上が加わったこと等により、売上は横ばい

■営業利益: Prinovaグループ買収に伴う費用の増加および中長期的な成長に向けた先端技術への投資を行ったこと等により減益
Prinovaグループの当期における利益貢献は企業結合に係る一過性の費用の発生等により限定的

(単位: 億円)

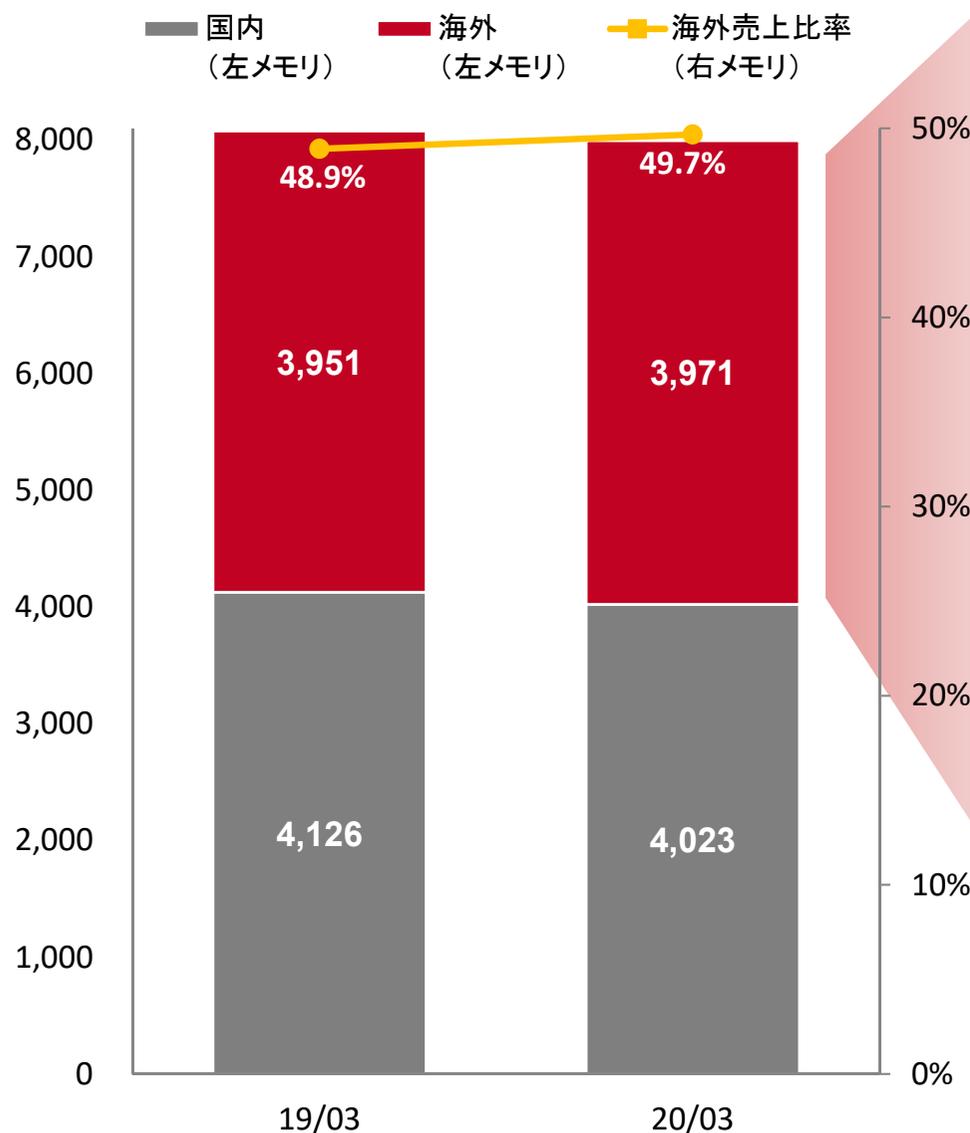
	19/03	20/03	増減額	前期比	通期見通し (2Q修正)	計画比
売上高	8,077	7,995	△ 81	99%	8,200	98%
売上総利益	1,054	1,049	△ 5	99%	1,080	97%
<利益率>	13.1%	13.1%	+0.1%	—	13.2%	—
販売費及び 一般管理費	802	857	+ 55	107%	865	—
営業利益	252	191	△ 60	76%	215	89%
経常利益	266	190	△ 75	72%	220	87%
親会社株主に帰属する 当期純利益	201	151	△ 49	75%	173	88%
US\$レート (期中平均)	@ 110.9	@ 108.7	@ 2.2 円高		@108.0	—
RMBレート (期中平均)	@ 16.5	@ 15.6	@ 0.9 円高		@ 15.4	—

【為替変動による20/03期実績 売上高および営業利益への影響額】
売上高: 約△126億円 営業利益: 約△5億円

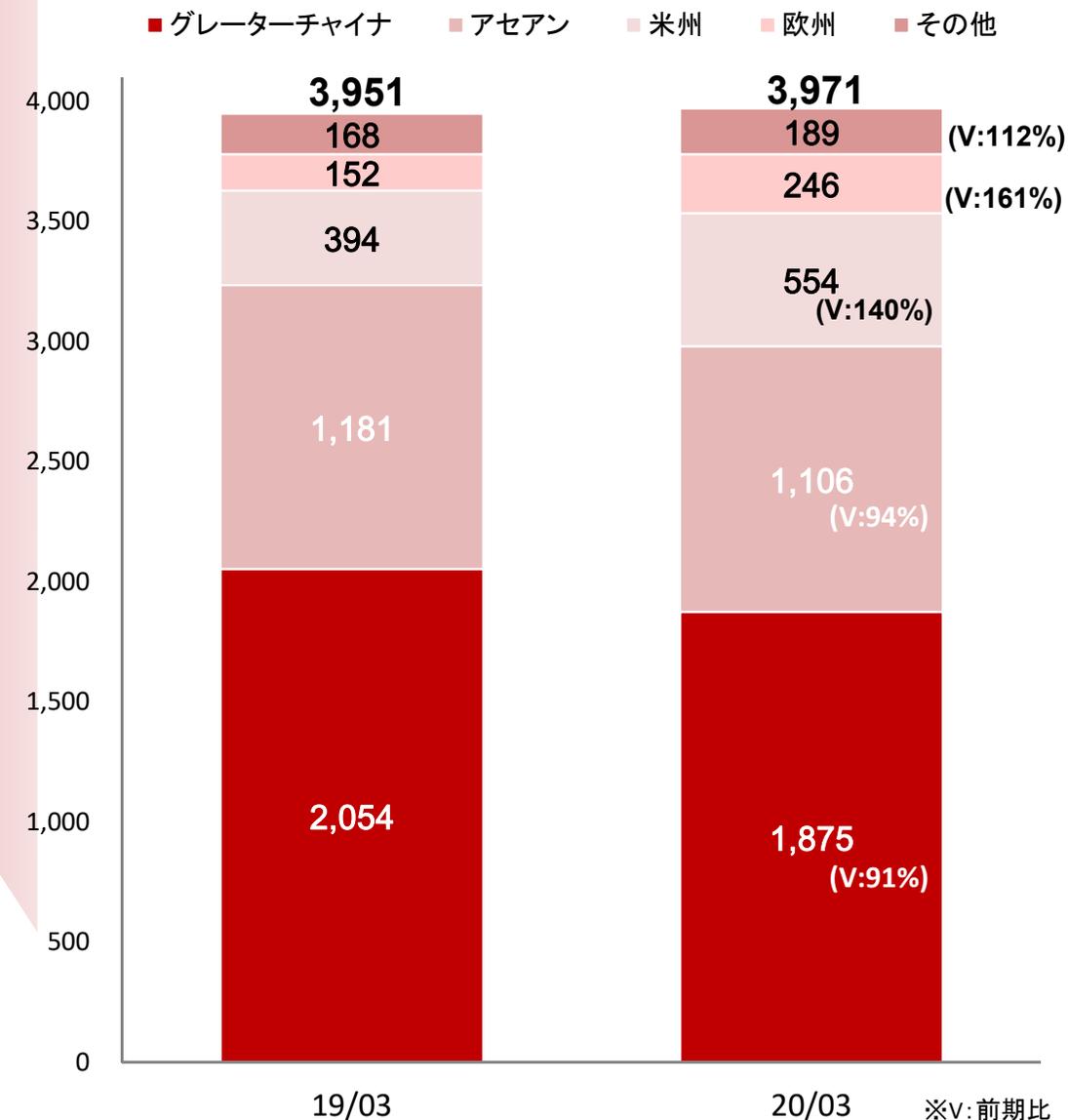
地域(国内・海外)別売上高

■国内含めアジア地域は減収となったものの、Prinovaグループ買収等に伴い、欧米地域の売上が増加（海外売上比率49.7%）

国内・海外売上高(億円、%)



海外売上高の地域別内訳(億円、%)



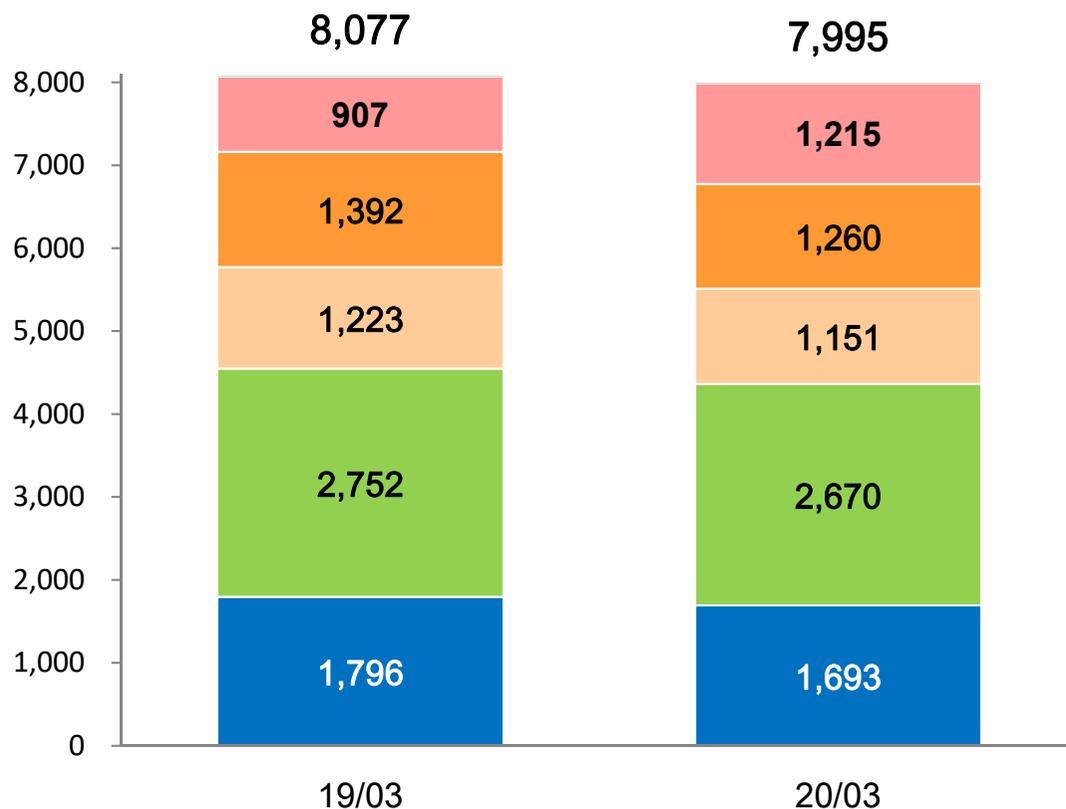
※V: 前期比

セグメント別売上高 2期比較

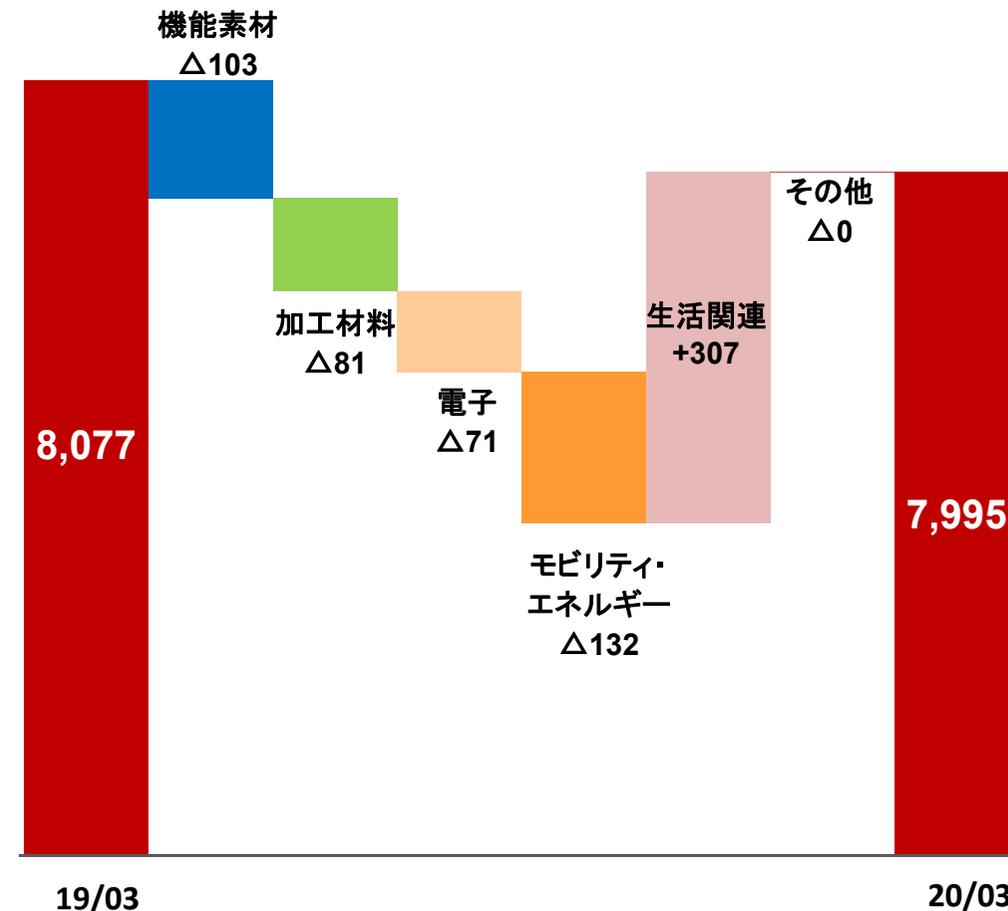
- モビリティ・エネルギー：自動車生産台数の減少等により、国内外における樹脂原料販売等が減少し、減収
- 生活関連：AA2G®等の売上が減少したものの、トレハ®や医療品原料・中間体・医用材料等の売上が増加し、さらに第2四半期連結会計期間において新たに買収したPrinovaグループの売上が加わったことから、増収

セグメント別 売上高 (億円)

■機能素材 ■加工材料 ■電子 ■モビリティ・エネルギー ■生活関連 ■その他



セグメント別 売上高 増減 (億円)



※ 自動車・エネルギーセグメントは、2019年4月より、モビリティ・エネルギーセグメントに名称変更しております。

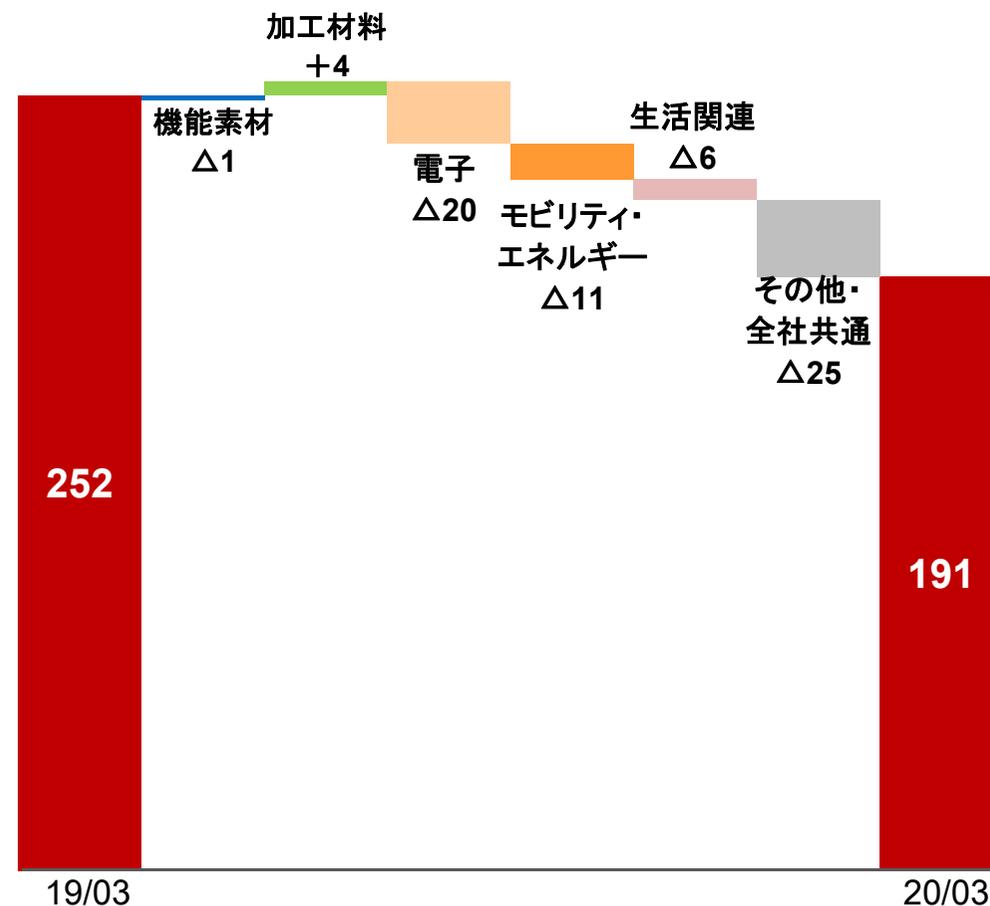
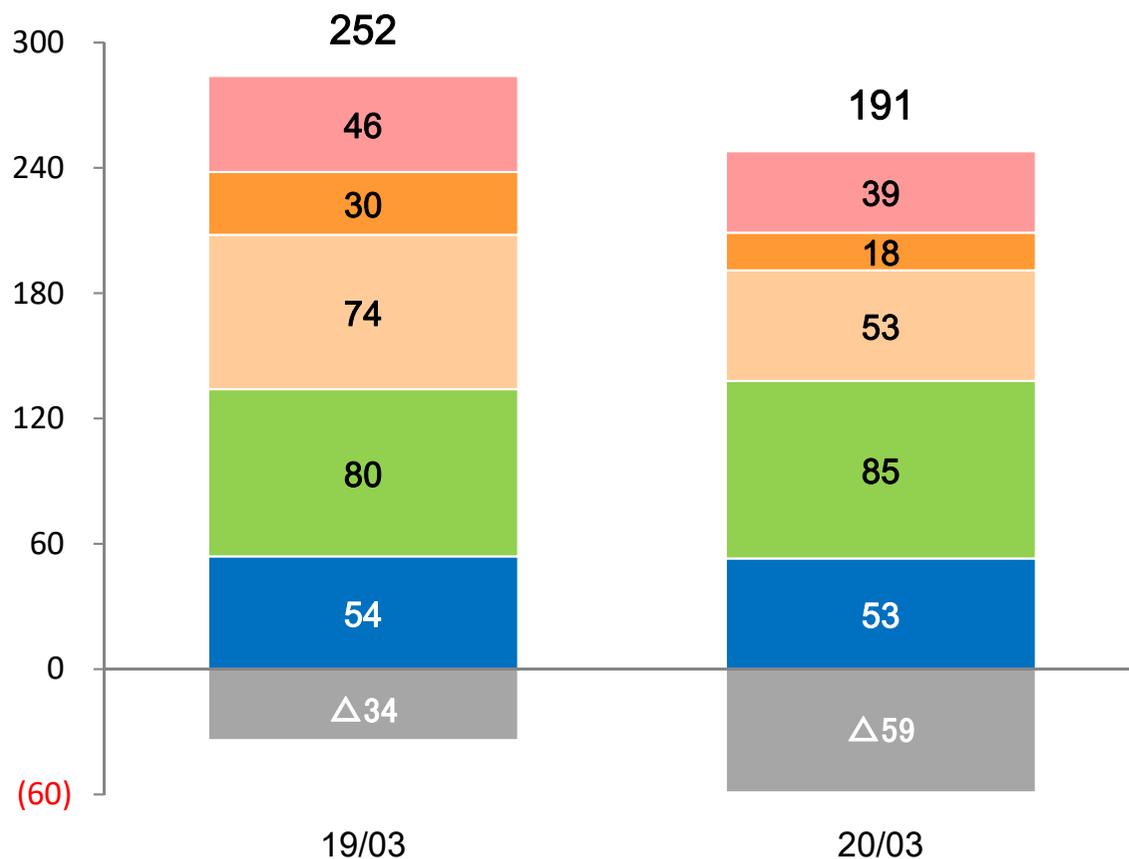
セグメント別営業利益 2期比較

- 加工材料：減収となったものの、国内製造子会社の収益性の改善等により、増益
- 電子：減収に加え、中国におけるガラス基板の薄型加工事業の収益性悪化等の影響により、減益
- 生活関連：増収となったものの、企業結合に係る一過性の費用の発生および一部の国内製造子会社における収益性の悪化等により、減益
- その他・全社共通：Prinovaグループ買収に伴う費用の増加および中長期的な成長に向けた先端技術への投資等により減益

セグメント別 営業利益 (億円)

セグメント別 営業利益 増減 (億円)

■機能素材 ■加工材料 ■電子 ■モビリティ・エネルギー ■生活関連 ■全社・その他



※ 自動車・エネルギーセグメントは、2019年4月より、モビリティ・エネルギーセグメントに名称変更しております。

連結貸借対照表

- 保有株式の売却や時価下落により投資有価証券は減少したものの、子会社の新規連結に伴う資産の受入およびのれんを含む無形資産等の計上等により、資産は441億円増加
- Prinovaグループ買収に伴う資金調達の為、長期借入金・社債が増加し、負債は434億円増加
- 自己資本比率は、4.3ポイント減少し、49.9%

資産

負債及び純資産

(単位: 億円)

	19/03	20/03	増減額
流動資産	3,658	3,793	+ 135
現金・預金	440	514	+ 73
受取手形・売掛金	2,304	2,211	△ 93
たな卸資産	810	956	+ 146
その他	102	111	+ 8
固定資産	2,015	2,321	+ 306
有形固定資産	664	743	+ 78
無形固定資産	372	725	+ 353
投資・その他の資産合計	977	852	△ 125
投資有価証券	902	761	△ 141
その他	75	91	+ 15
資産合計	5,673	6,114	+ 441

	19/03	20/03	増減額
流動負債	2,018	2,004	△ 14
支払手形・買掛金	1,172	1,082	△ 89
借入金・CP・1年内償還予定の社債	579	618	+ 39
その他	266	302	+ 35
固定負債	528	978	+ 449
長期借入金・社債	275	726	+ 450
退職給付に係る負債	124	136	+ 12
その他(繰延税金負債等)	128	115	△ 13
負債合計	2,547	2,982	+ 434
純資産	3,126	3,132	+ 6
株主資本	2,628	2,723	+ 94
その他の包括利益累計額	447	329	△ 118
その他有価証券評価差額金	418	326	△ 92
為替換算調整勘定	32	10	△ 21
その他	△ 2	△ 6	△ 3
非支配株主持分	49	79	+ 29
負債及び純資産合計	5,673	6,114	+ 441

キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	20/03	主な内訳	19/03
営業活動によるキャッシュ・フロー	330	税金等調整前当期純利益 +242 減価償却費・のれん償却 +121 運転資金の増減 +89 法人税等の支払 ▲70	173
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 492	連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 ▲446 有形・無形固定資産の取得による支出 ▲123 投資有価証券の売却による収入 +102	▲ 73
財務活動によるキャッシュ・フロー	243	長期借入金の増減 +243 社債の増減 +100 配当金の支払 ▲57	▲ 89
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 18		1
現金及び現金同等物の増加額(▲減少額)	63		12
現金及び現金同等物の期首残高	440		428
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—		▲0
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1		—
現金及び現金同等物の期末残高	504		440

2021年3月期 業績見通し

- 生活関連セグメントでは、Prinovaグループの業績が次年度では通期にわたり寄与すること、および同社のビタミン類・アミノ酸類等の販売が主として欧米で好調に推移することにより、大幅増収となる見込み
- 一方、他のセグメントでは、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受ける為、相当程度の減収となる見込み
- 以上の結果、全体としては減収減益の見通し

【前提】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が下半期においては概ね回復
- ・US\$レート: 1US\$=106円、RMBレート: 1RMB=14.7円

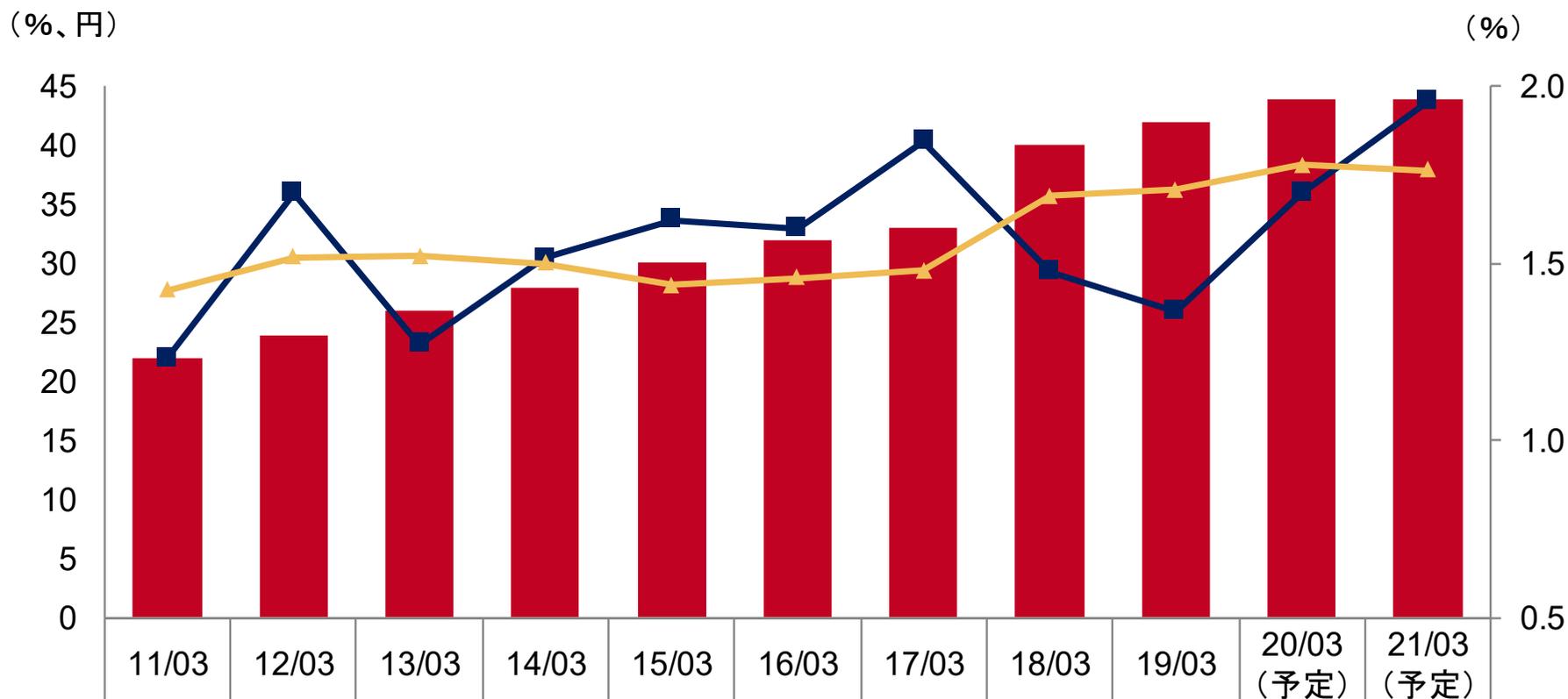
(単位: 億円)

	20/03実績	21/03見通し	増減額	前期比
売上高	7,995	7,540	△455	94%
売上総利益	1,049	1,070	+21	102%
<利益率>	13.1%	14.2%	+1.1%	—
販売費及び一般管理費	857	920	+63	107%
営業利益	191	150	△41	78%
経常利益	190	155	△35	81%
親会社株主に帰属する当期純利益	151	125	△26	83%
US\$レート (期中平均)	@108.7	@106.0	2.7円高	—
RMBレート (期中平均)	@15.6	@14.7	0.9円高	—

配当状況

■当期: 中間配当金22円、期末配当金22円の年間配当金44円を予定

■来期: 中間配当金22円、期末配当金22円の年間配当金44円を予定



※1 18/03期の配当金には、特別配当金5円を含んでおります。

※2 20/03期の期末配当金は、2020年6月開催予定の定時株主総会に附議予定です。



Bringing it all together

<https://www.nagase.co.jp/>

当プレゼンテーション資料には、2020年5月14日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。